

見ごろの植物マップ

2023/5中旬～



①



ヤマボウシ

科名：ミズキ科

場所：大すべり台の上

東西南部～九州に分布する落葉小高木。低山の林地や草原に自生しますが、初夏に咲く清楚な花や、晩夏に熟す赤い果実を観賞するため、公園や一般家庭にもよく見られます。

⑤



ハコネウツギ

科名：タニウツギ科

場所：長池のエントランス付近

咲き始めの花は白ですが、開花中に色素が変化し、順次、薄ピンク、紅色と三段階に移り変わります。これら三色が一つの枝で同時に咲くのが本種の見どころです。

②



ツルアジサイ

科名：アジサイ科

場所：あじさい園

全国の湿潤な林内に生息し、アジサイに似た白い花をつけます。ツルは時に高さ10m以上になり、見事な花を咲かせます。

⑥



スイレン

科名：スイレン科

場所：花木園の藤棚池

水の上に浮かぶように咲く花が印象的な水生植物です。古くからエジプトでは神聖な花として扱われてきました。花色は白、黄色、ピンク、赤、紫、青紫、青と豊富です。睡蓮(スイレン)の学名Nymphaeaはギリシャ神話の水の妖精の名前Nympha(ニンファ)に由来するとされています。

③



エゴノキ

科名：エゴノキ科

場所：あじさい園

白い小花が下を向いて鈴なりに咲く姿が目を引きます。和名「エゴノキ」は、果実を口に入れると喉や舌を刺激してえぐい(えごい)ことに由来します。

⑦



ベニバスマモモ

科名：バラ科

場所：花木園

花は桜の花によく似ており、桜より一足早く咲き始めます。現在は名前にもついている紅色の葉が観賞できます。

④



バラ【リリー・マルレーン】

科名：バラ科

場所：バラ園

バラ園が見頃を迎えています。写真の「リリー・マルレーン」は赤色バラの代表的なバラです。花が散るまで褪色が少なく、ベルベットのような花弁は雨などによる傷みが少ないバラです。数輪の房咲きになります。

⑧



カラタネオガタマ

科名：モクレン科

場所：花木園

中国原産。花の香りはバナナに例えられるような甘い香り、木の大きさに比べると花は小さく色もあまり目立ちませんが、香りで開花に気づく程の芳香です。

アイコンについて

 お手洗い
 ※車椅子での利用・おむつ買入可能
 売店 自販機

⑤ハコネウツギ

⑦ベニバスマモモ

⑥スイレン

⑧カラタネオガタマ